



2024年3月期 本決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2024年5月1日

決算報告

取締役 執行役員副社長 佐伯 幸雄

2025年3月期 業績見込み 中期経営計画 VISION2030

代表取締役社長 徳重 敦之



決算報告

取締役 執行役員副社長 佐伯 幸雄

前年同期比 増益増収

売上高	1.1% 増加	
経常利益	11.6% 増加	
親会社株主に帰属する当期純利益	13.8%増加	

業績レコード達成

2年連続※¹でVISION2025の目標値※²をクリア

2025年3月期の経常利益率・ROE 見通し※³を 1年前倒しで達成

※1 2023年3月期／2024年3月期

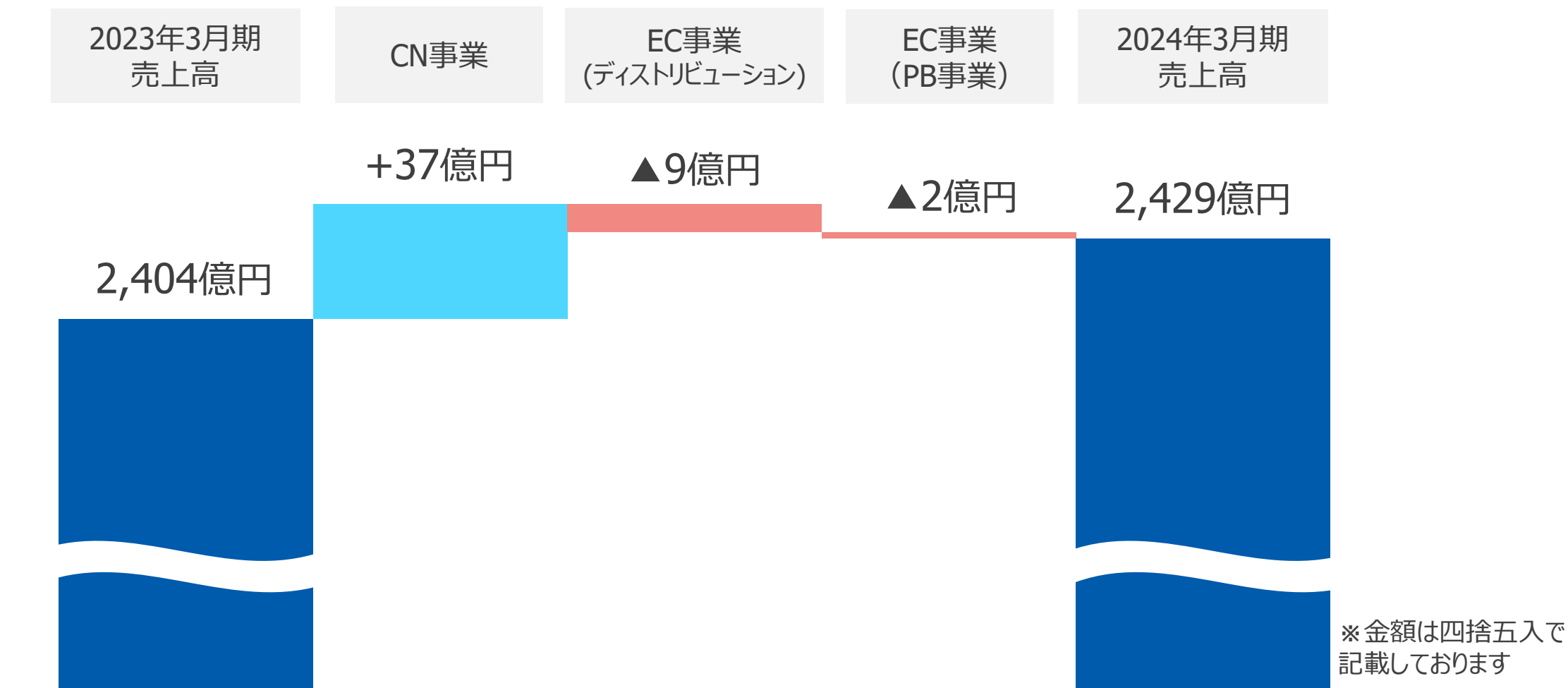
※2 売上高2,000億円±10% 経常利益率5.0% ROE15.0%

※3 売上高2,500億円 経常利益率5.5% ROE20.0%

業績概要 前期比

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	2024年3月期予想
売上高	240,350	242,888	2,538	250,000
売上原価	206,106	205,720	▲385	
売上総利益	34,243	37,168	2,924	
販管費	20,016	21,739	1,722	
営業利益	14,227	15,428	1,201	
営業外収益	268	414	146	
営業外費用	2,016	1,920	▲95	
経常利益	12,478	13,922	1,443	13,500
当期純利益	8,778	9,986	1,208	9,770
従業員数	1,318名	1,357名	39名	

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益
東京エレクトロン デバイス



セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。
 PB事業とは、プライベートブランド事業の略称であり、従来の呼称である自社ブランド事業を呼称変更しております。
 PB事業には、東京エレクトロン デバイス長崎株式会社、株式会社ファーストを含んでおります。

セグメント別 売上高・利益

- CN事業 セキュリティや保守・監視サービス等のストックビジネス ネットワーク製品 好調
為替対応により利益率改善 増益増収
- EC事業 顧客商権拡大も 中国市場停滞や半導体メーカー直販化で減収 利益は同水準
(百万円)

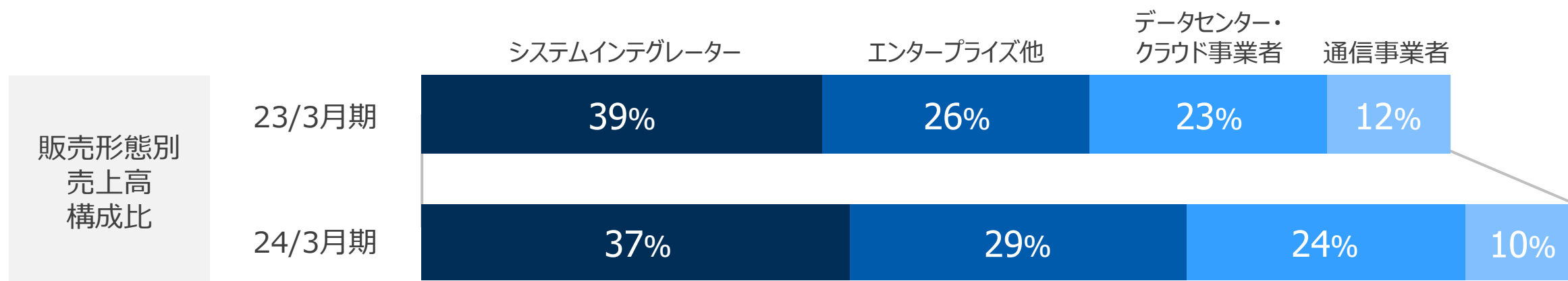
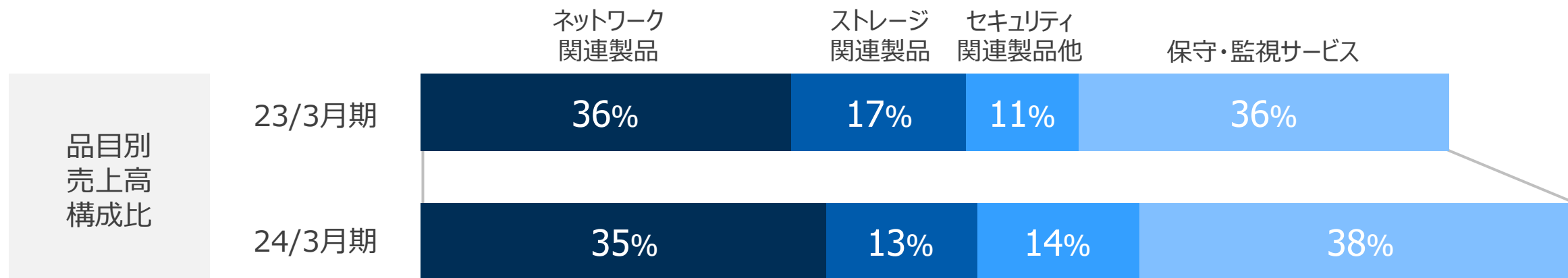
	2023年3月期		2024年3月期			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
コンピュータシステム関連 (CN)事業	29,255	2,019	32,978	3,723	3,463	1,443
半導体及び電子デバイス (EC)事業	211,094	10,459	209,909	▲1,184	10,459	▲0
合計	240,350	12,478	242,888	2,538	13,922	1,443

※ セグメント利益は経常利益
 ※ セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。

セグメント情報 CN事業

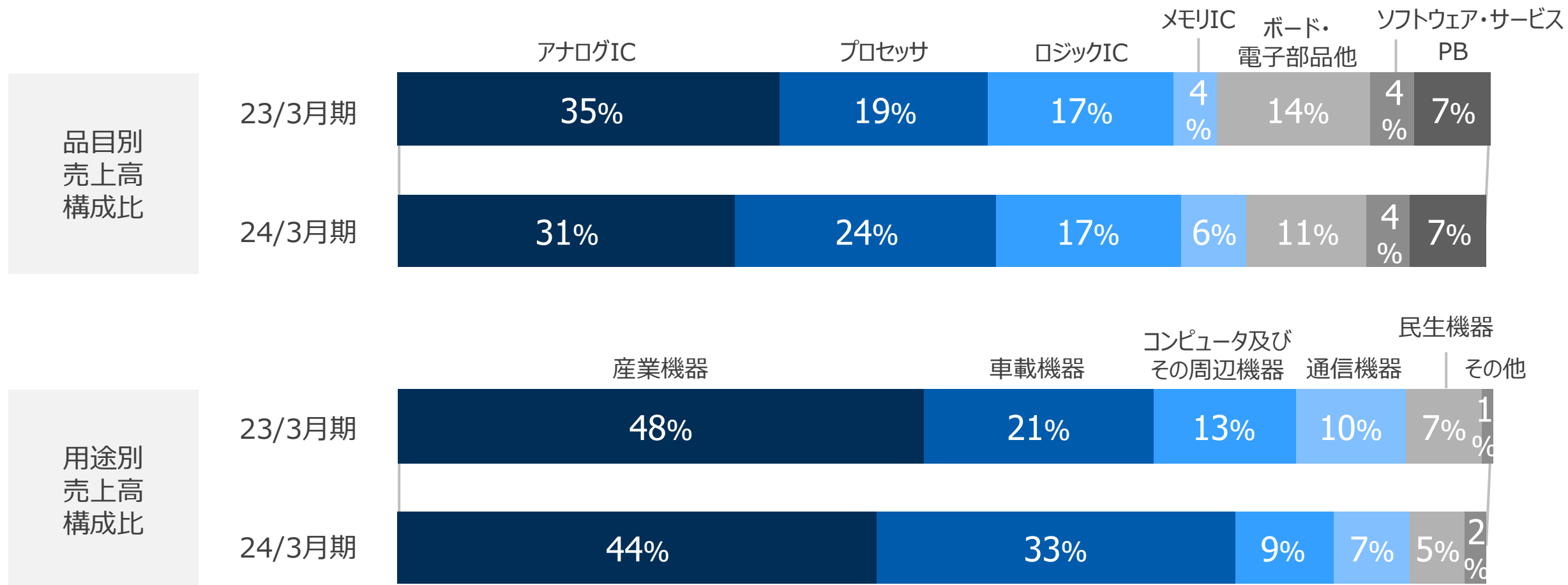
- ネットワーク関連製品
- セキュリティ関連製品他
- 保守・監視サービス

データセンター・クラウド事業者 エンタープライズ向け堅調
システムインテグレーター向け好調
機器保守 全分野で好調



セグメント情報 EC事業

- 産業機器 産業機器の需要減とメーカー直販化によるアナログIC減もあり 大幅減少
- 車載機器 需要堅調 商権拡大によりプロセッサ メモリIC 大幅増加
- コンピュータ及びその周辺機器 通信機器 民生機器 低調



※ EC事業 用途別売上高構成比は分類を変更しております。

海外連結子会社 売上高 EC事業

- ・ コンピュータ及びその周辺機器 産業機器向け低調
- ・ 車載機器向け 伸長

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	52,358	51,442	▲916	▲1.8%
海外連結子会社 売上高比率	24.8%	24.5%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	386	355	▲30	▲7.9%
為替レート(円)	135.50	144.59		

※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

- TED ウェーハ検査装置寄与 医療機器向け設計・量産受託サービス堅調
- TED長崎 電力・産業機器向け好調も 半導体製造装置向け減速
- ファースト 検査システム低調

(百万円)

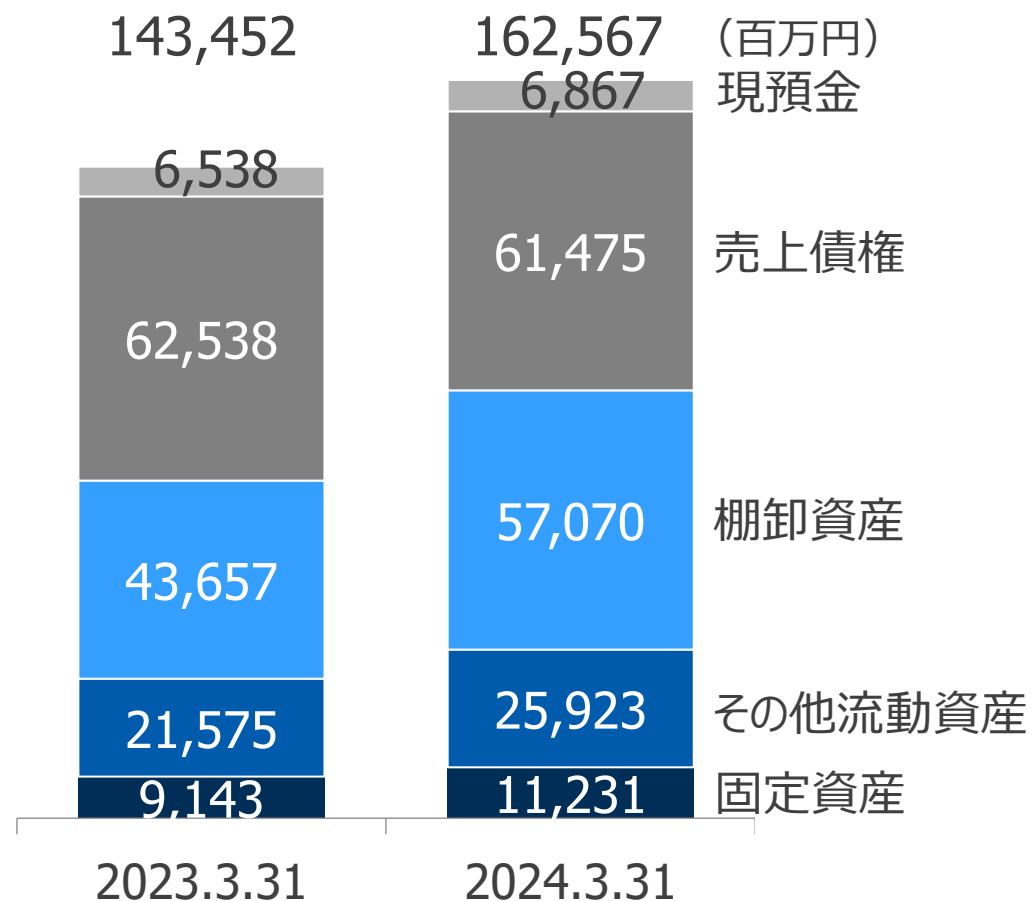
	2023年3月期	2024年3月期	増減額	増減率
PB事業売上高	14,498	14,251	▲247	▲1.7%
売上高比率	6.9%	6.8%		

※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

貸借対照表

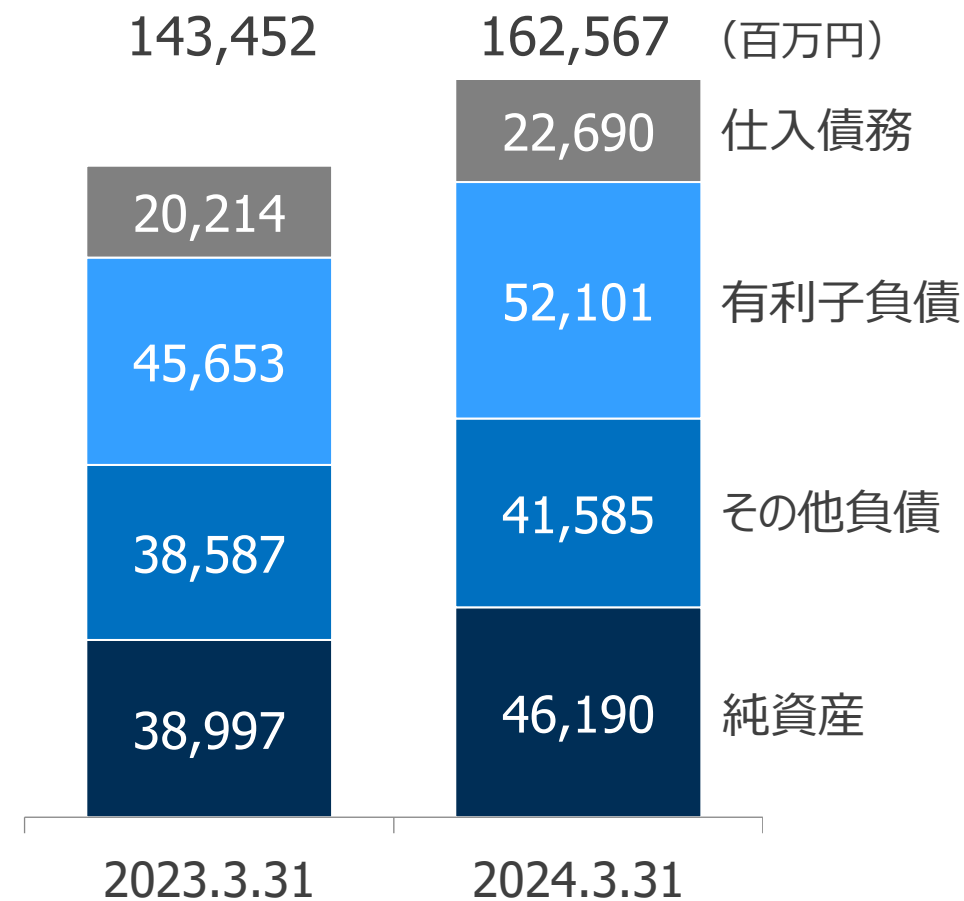
資産

- 商権拡大等に伴い 棚卸資産増加
- 事業譲受により のれん及び無形資産が増加

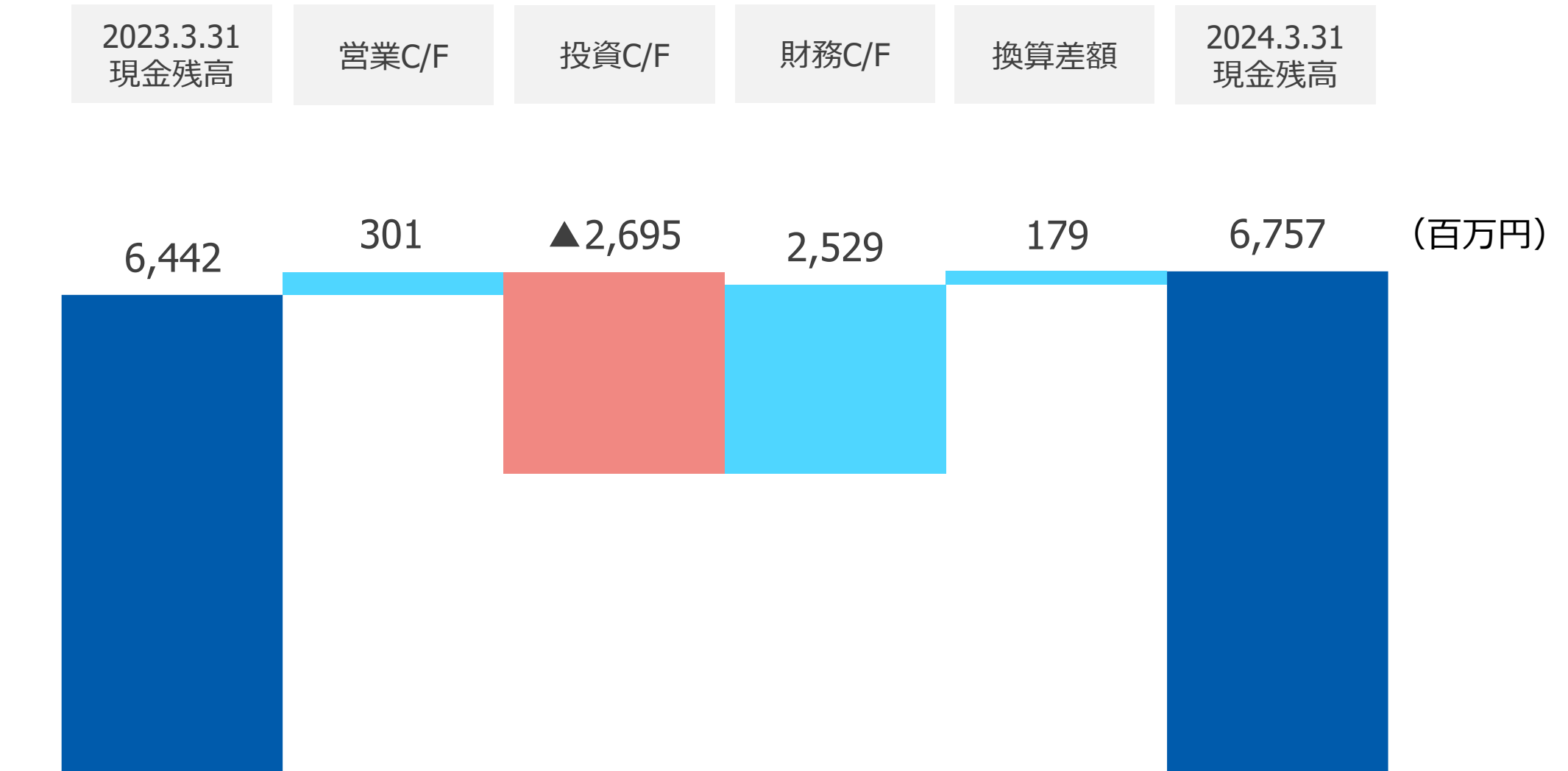


負債・純資産

- 棚卸資産の増加等により 有利子負債増加
- 利益の増加により 純資産が増加

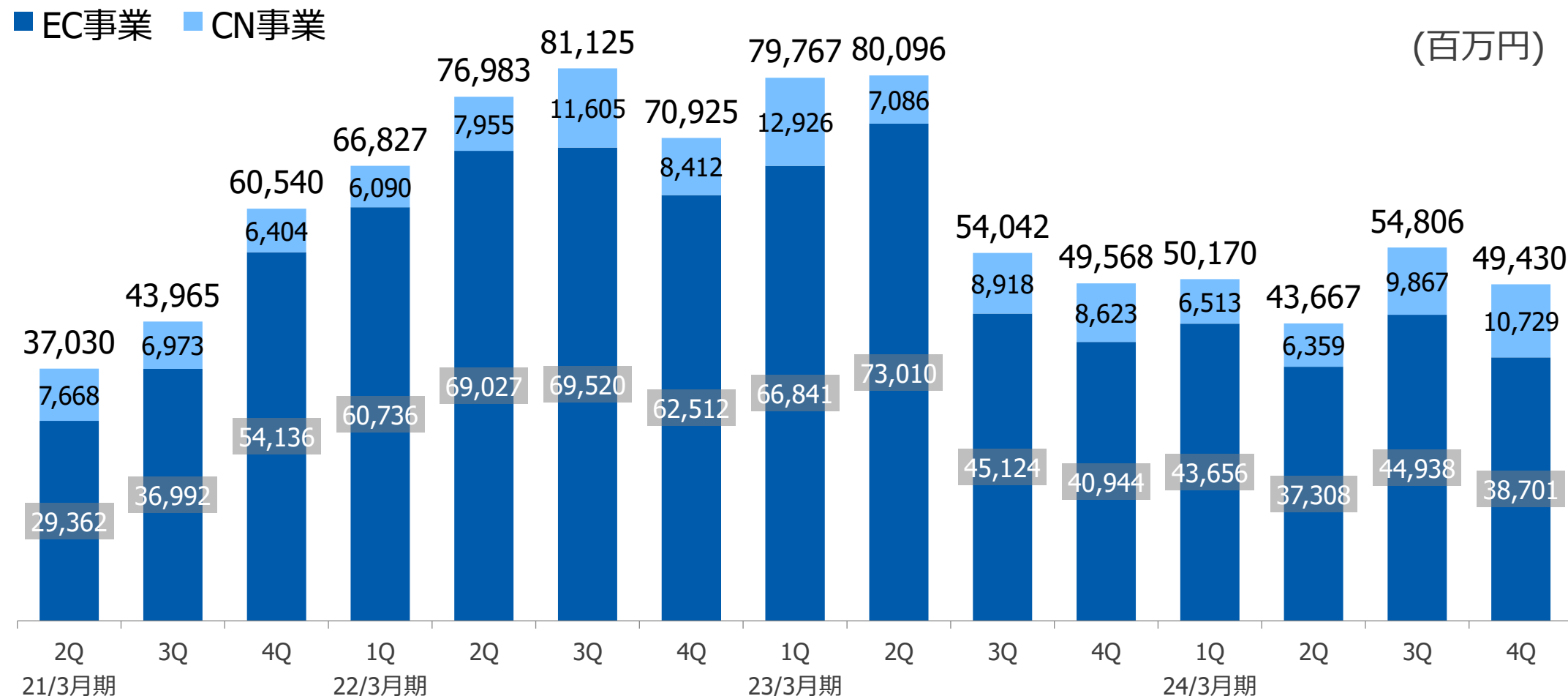


キャッシュ・フロー計算書



受注高の推移

- CN事業 IT投資堅調 2024年3月期 3Q 4Qは大型案件あり
- EC事業 2023年3月期3Q以降 長期受注の反動減が継続





2025年3月期 業績見込み

代表取締役社長 徳重 敦之

3期連続でVISION2025の目標値は上回るものの 前年実績は下回る
調整継続 2025年3月期上期底入れ 下期回復基調へ転換

主な背景：

- サプライチェーンにおける在庫 高水準（中国市況 停滞の長期化）
- 一部半導体メーカーによる 直販化（上期に影響大）
- 新規顧客商権の流入（下期より本格化）

事業計画前提



		2024年3月期		2025年3月期	
		上期	下期	上期	下期
		成長期	調整期	底入期	回復期
E C ・ P B	半導体・ウエハ市況	サプライチェーンにおける在庫 高水準			在庫水準適正化へ
	中国市況	停滞の長期化			回復基調
	産業機器	中国市況の影響により低調			回復基調
	車載機器	堅調に推移			堅調に推移
	商権	新規顧客商権の寄与	メーカー直販の本格化		新規顧客商権の寄与
C N	市況動向	セキュリティ中心にIT市場は堅調に推移			セキュリティ中心にIT市場は堅調に推移
	新規代理店契約	新規契約の獲得			新規契約の獲得
為替動向		前年比 円安で推移			前年比 円安で推移
売上高		2,428 億円			2,300 億円
経常利益率		5.7 %			5.5 %
ROE		25.1 %			19.2 %

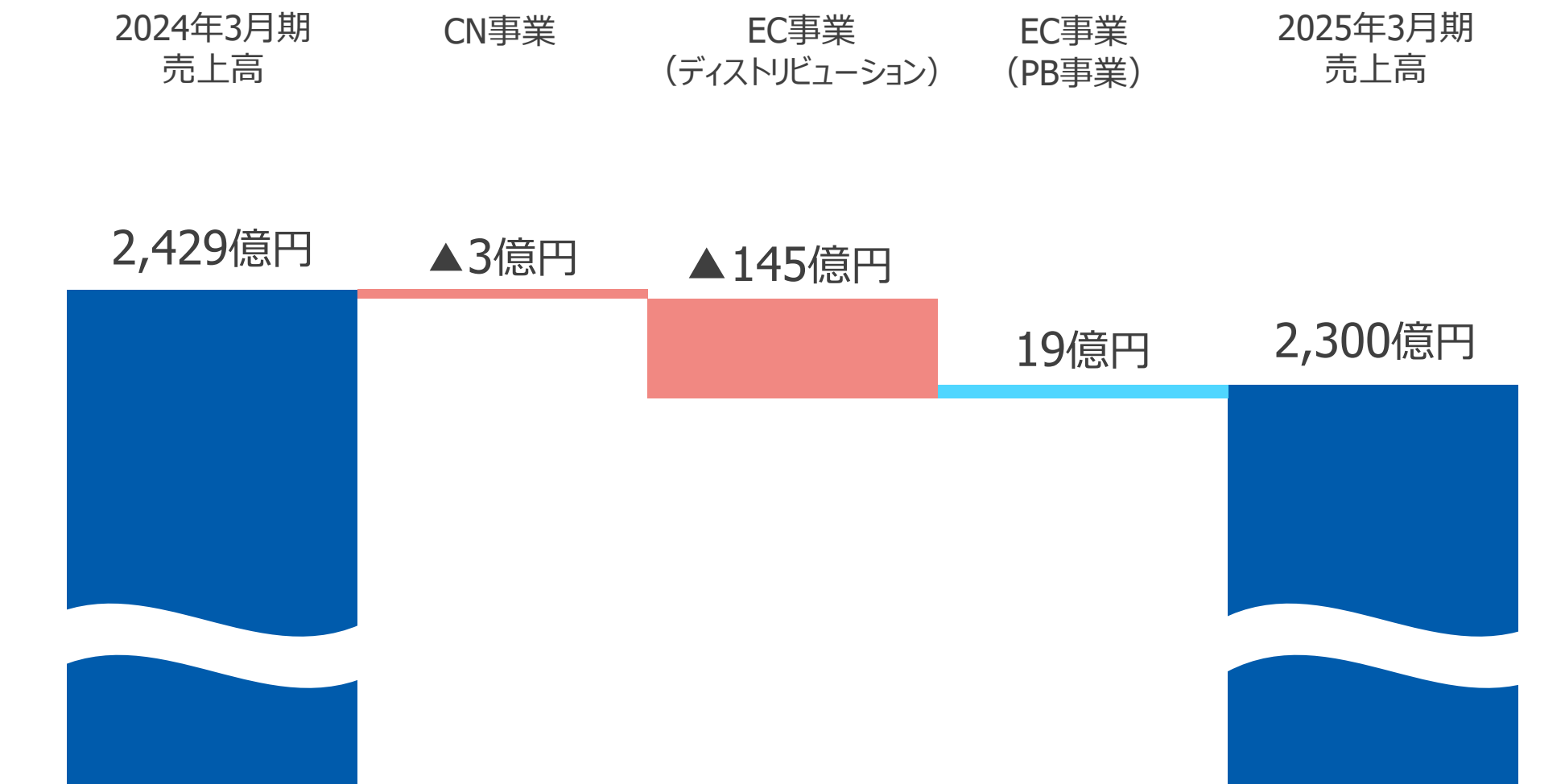
2025年3月期 業績見込み

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期			対前期比	
	通期	上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	242,888	110,000	120,000	230,000	▲ 12,888	▲ 5.3%
CN事業	32,978	14,850	17,800	32,650	▲ 328	▲ 1.0%
EC事業(連結)	209,909	95,150	102,200	197,350	▲ 12,559	▲ 6.0%
EC事業	195,658	87,380	93,820	181,200	▲ 14,458	▲ 7.4%
PB事業	14,251	7,770	8,380	16,150	1,898	13.3%
経常利益 (利益率)	13,922 (5.7%)	5,500 (5.0%)	7,200 (6.0%)	12,700 (5.5%)	▲ 1,222	▲ 8.8%
当期純利益 (利益率)	9,986 (4.1%)	3,800 (3.5%)	4,900 (4.1%)	8,700 (3.8%)	▲ 1,286	▲ 12.9%

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

2025年3月期 業績見込み 売上高増減



※金額は四捨五入で記載しております

メーカー機能 及び サービスビジネス の強化を中心とした 有望事業の推進

CN事業

新規商材の取り扱い開始

- ・ TEDアメリカでのマーケティング強化

ストックビジネスの拡充

- ・ 自社サービス
- ・ 技術コンサルティングサービス

EC事業

取り扱い商材の拡大

- ・ 新規顧客商権の取り込み
- ・ 新規サプライヤ契約の推進

ソリューションビジネスの推進 (PBとの連携)

- ・ 取り扱い製品を活用した
システム開発サービス

クラウドAI・エッジAI ビジネス強化

- ・ Microsoft を中核とした
サービス・ソリューションの提供

PB事業

ウェーハ検査装置事業の強化

- ・ ウェーハ検査装置納入 本格開始
- ・ 技術共有
- ・ 国内外ウェーハメーカーへの販促

TED長崎の製造ライン強化

- ・ 設備投資による生産能力向上

ビジョンオートメーションシステム強化

- ・ TriMathの機能追加

ウェーハ検査装置事業の強化

シリコンウェーハ検査装置の納入 本格開始
SiC検査装置の製品化と 海外拡販進展

	～2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期以降
シリコンウェーハ 検査装置 主な応用製品： 半導体製品全般	日本エレクトロ センサデバイス社より 事業譲受 (2023年10月)	●シリコンウェーハ検査装置の 納入本格開始 ●SiC検査装置の製品化 及び 海外拡販進展	●次世代製品の開発 事業シナジーの強化
化合物半導体ウェーハ 検査装置 主な応用製品： パワー半導体/センサ/フィルタなど	●販売開始 (2020年) ●機能の強化 カセット数増・ウェーハ大口径化 ●検査対象物の拡大 ●海外拡販の開始	●フィールドサポート体制の整備 ●研究開発の推進	

1株当たり配当金

(円)

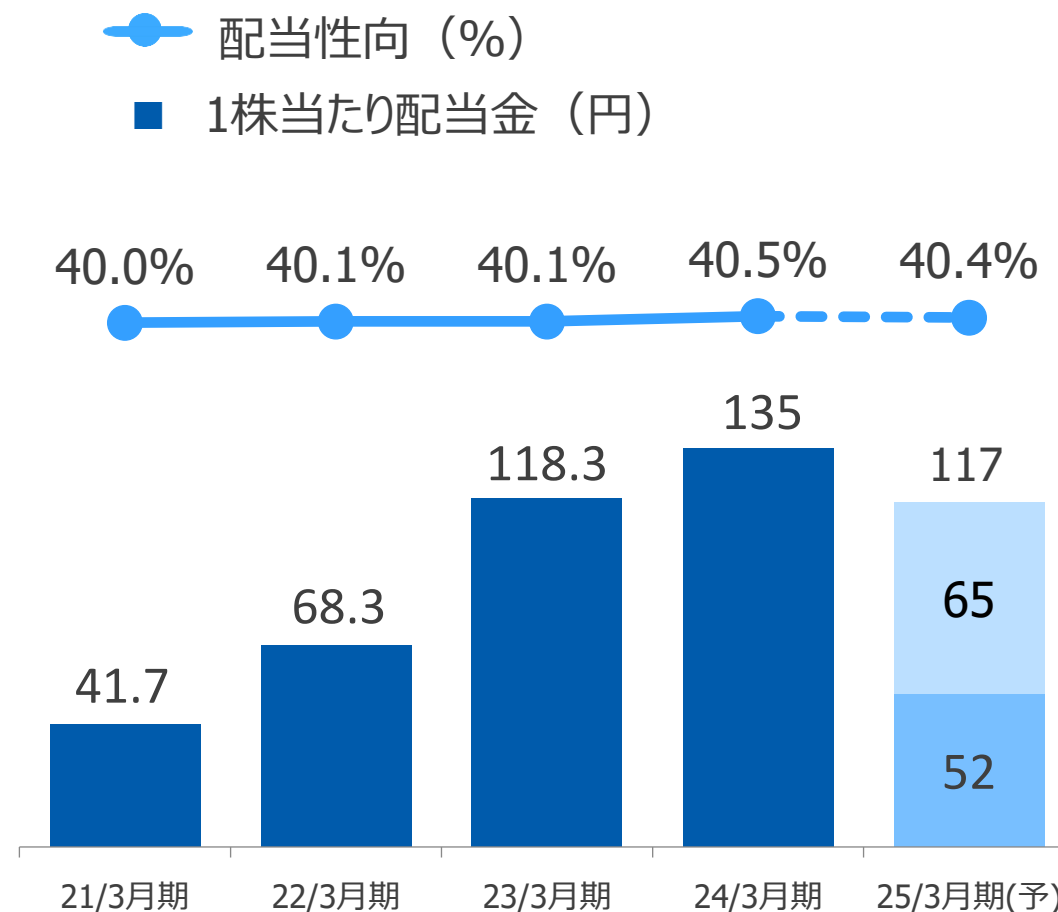
	2024年3月期	2025年3月期
中間	※ 61	(予定) 52
期末	74	(予定) 65
合計	135	(予定) 117

※2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
(2023年9月以前の配当金額は当該株式分割が行われたと仮定して記載)

配当政策

- 配当性向 40%
- 安定的・継続的な配当

配当金・配当性向



※2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
(2023年9月以前の配当金額は当該株式分割が行われたと仮定して記載)

- コーポレートオフィサー制度の導入
- CEOの新設
- 本社移転



渋谷サクラステージ（中央のビル）



中期経営計画 VISION2030

半導体やITを中心とする最先端テクノロジーを通して



社会課題に向き合い

期待を超える価値を持つ解決策を提供することで

社会の持続的发展に貢献する



**メーカーと技術商社の力で
潜在的な社会課題を解決する会社**

「メーカー」と「技術商社」の力により 潜在的な社会課題（顧客課題）の解決を図る

- 全てのビジネスユニットが、自社製品（サービス）開発にも取り組みグループシナジーを創出することにより、期待を超える価値を持つ課題解決策を提案する
- 潜在的課題に対するマーケティング強化のため、技術商社部門は新規代理店権と顧客商権の獲得を推進する
- 課題解決を可能とする事業基盤の早期確立に向け、積極的にM & Aを活用する

持続的な利益成長に資する行動を推進する

- 差別化できる自社製品（サービス）開発に向けた積極的な投資を行う
- フロー型からストック型サービスビジネスへの移行を推進する
- 中長期利益の拡大に向けた投資（研究開発、人材採用、社員教育等）を行う

CN事業

- 顧客のニーズを理解し、DXを支えるソリューションとサービスを提供
- 顧客のデジタル技術活用を支援し、顧客満足度を向上

EC事業

- 産業機器、車載関連機器、クラウドサービス、OTセキュリティ分野などの成長マーケットに注力
- 半導体の専門知識を生かし、ソリューション型ビジネスを展開

PB事業

- 計測・検査技術を核に、ウェーハ検査装置を中心とした製品をグローバルに提供
- 半導体関連技術 と高品質な開発・製造基盤を生かし、医療ODM及び基板OEMのサービスを強化

VISION2030 財務モデル（目標とする経営指標）

「増益増収」（増益率＞増収率）による 持続的な利益成長を目指す

2030年3月期

- 売上高 3,000 ～ 3,500 億円
- 経常利益率 8 %以上
- ROE（株主資本） 20 %以上

	売上高構成比	目標経常利益率
CN事業	15 %	12 %
EC事業	75 %	7 %
PB事業	10 %	10 %

VISION2020

技術商社
×
メーカー機能

成長エンジンの構築

売上高 : 1,432 億円
経常利益率 : 3.2 %
ROE : 11.4 %

VISION2025

技術商社機能を持つ
メーカーへ

成長ビジネスの立ち上げ

(2025年3月期予想)
売上高 : 2,300 億円
経常利益率 : 5.5 %
ROE : 19.2 %

VISION2030

メーカーと
技術商社の力で
社会課題を解決

利益成長の加速

(2030年3月期目標)
売上高 : 3,000
~3,500 億円
経常利益率 : 8.0 %以上
ROE : 20.0 %以上

2016

2021

2022

2025

2026

2030

成長投資	持続的な成長への投資 ● 技術開発・事業拡大に向けた積極的な投資（M&Aを含む） ● 競争力強化を目的とした社内DX、社外DXへの投資 ● 人材育成への積極的な投資
株主還元	利益成長による長期的な高リターン ● 持続的な利益成長を実現し、企業価値向上 ● 業績に応じた株主還元（配当性向：40%目安）
財務健全性	財務体質の強化と適切な財務レバレッジ ● 自己資本比率：40%以上 ● ROE：20%以上 ● 適正な在庫水準の維持

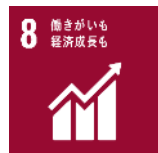
**持続的な利益成長による
企業価値のさらなる向上**

基本方針

- 事業を通じて提供する様々なソリューションによって、豊かな暮らしと持続的な社会の発展へ貢献します
- マテリアリティ（重要課題）の解決に取り組むことで、当社グループの持続的な発展・企業価値の向上を目指します

マテリアリティ（重要課題）

1. 当社が培ってきたエレクトロニクス及びITを中心としたリソースを活かし、持続的な社会の実現に貢献する。
2. 基本的人権の尊重を根幹に据え、働きやすさ・働きがいを意識した労働環境と人事制度を構築し、会社の永続的な発展を目指す。
3. 企業活動により生じる環境負荷（環境リスク）を軽減し、社会と会社が持続可能な関係を継続する。



人的資本／多様性

- グローバルな視点で顧客満足を追求できる人材の育成
- 社員の向上意欲を支援し、個々の能力を伸ばす環境を整備
- 次世代リーダーの育成に注力

気候変動

- 2050年度 カーボンニュートラルを目指し、2030年度の目標を設定（2021年度対比 50%削減）
- 2023年10月よりエンジニアリングセンター（横浜市都筑区）を実質再生可能エネルギー由来の電力に切り替え



本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



補足資料

● 中期経営計画 VISION2025	P36-38
● 為替差損	P39
● 損益計算書	P40-41
● CN事業 品目別売上高構成	P42
● EC事業 品目別売上高構成	P43
● EC事業 用途別売上高構成	P44
● 品目	P45
● 受注残高の推移	P46

想定する事業環境

Society 5.0 の到来

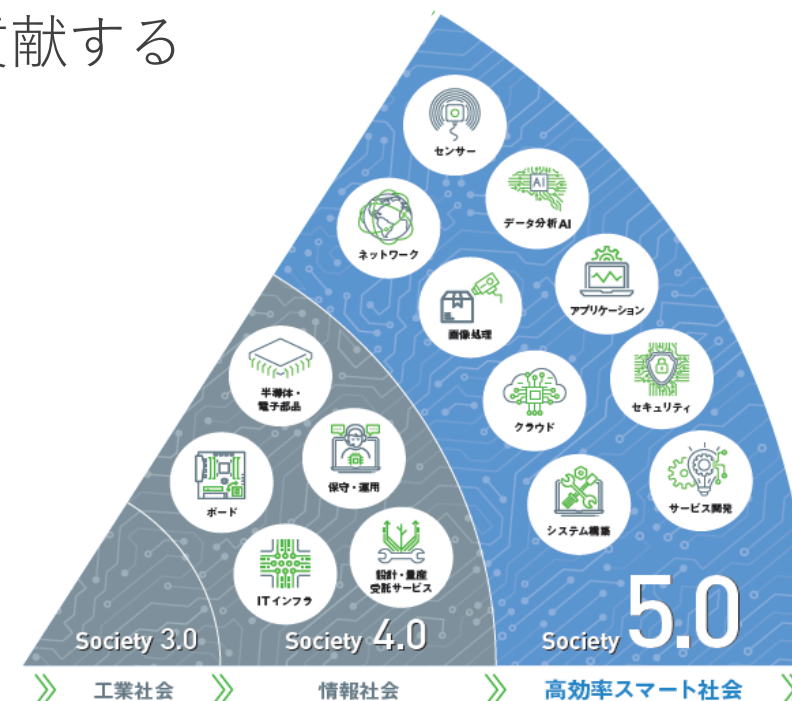
低成長経済下における
高効率スマート社会



当社のMISSION

DRIVING DIGITAL TRANSFORMATION

デジタルトランスフォーメーションを
実現する製品・サービスを提供し
高効率スマート社会の持続的发展に
貢献する



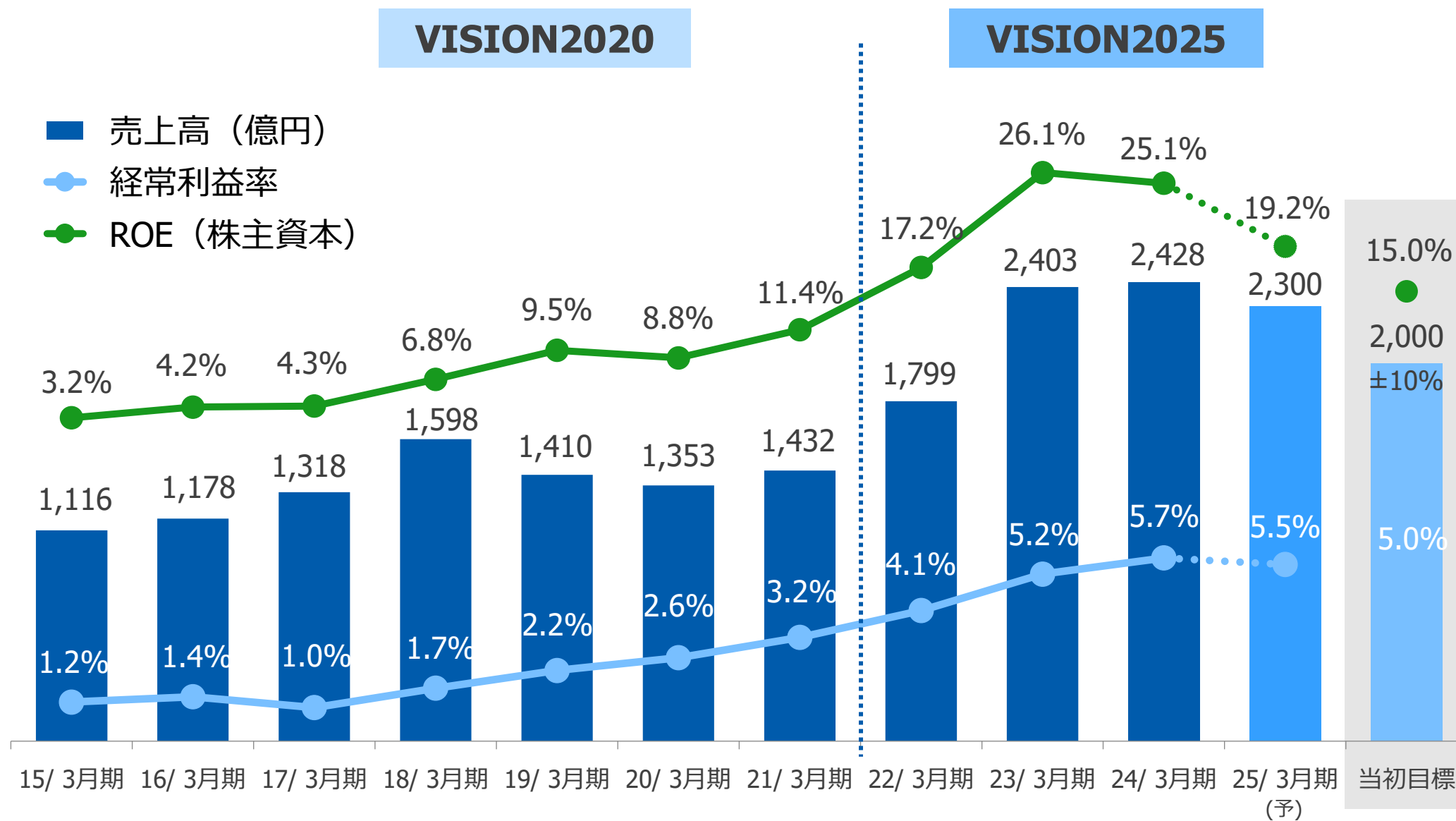
技術商社機能を持つメーカーへ

進化する技術商社機能

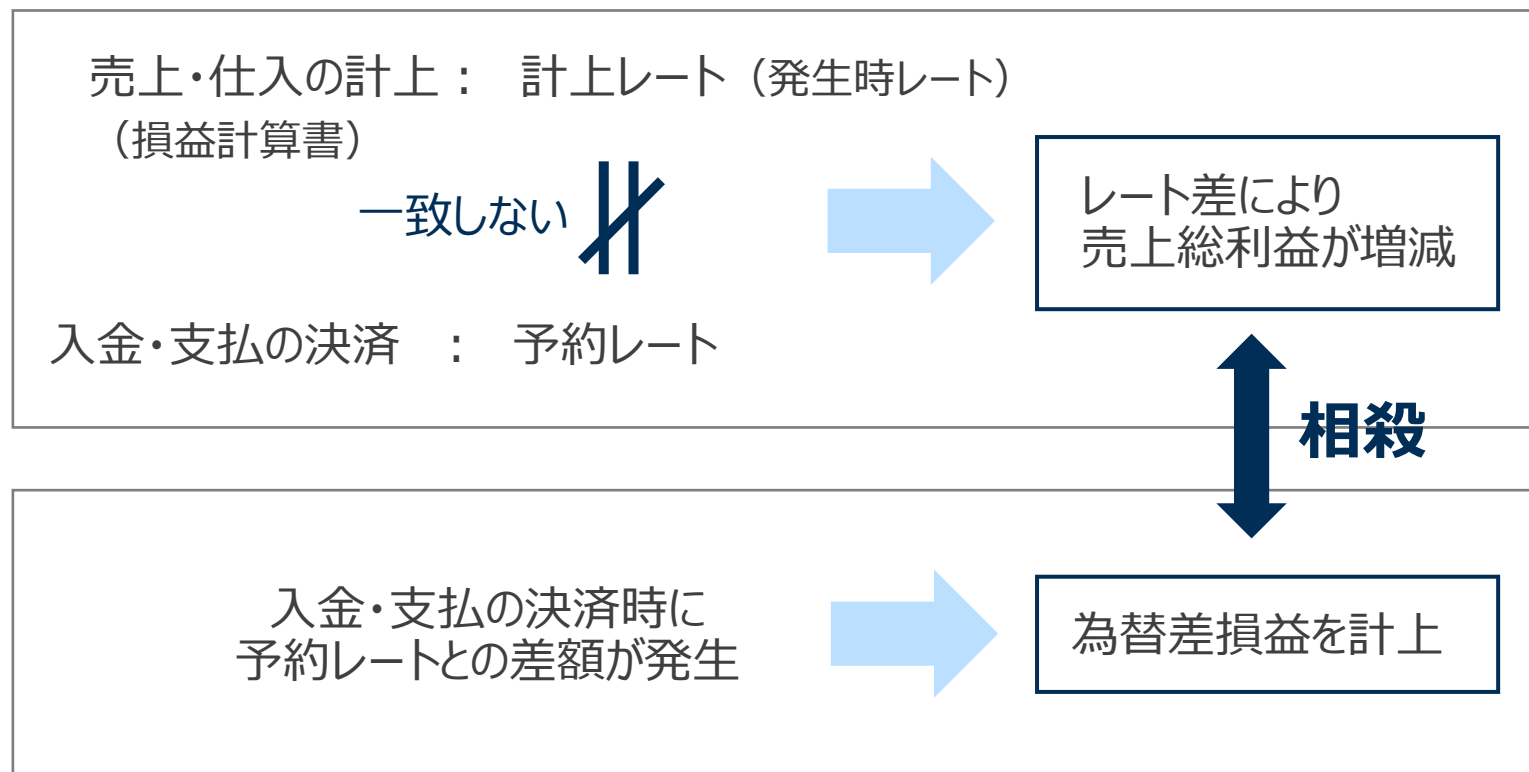
- データ・サービス・ストックビジネスを利益源泉とするビジネスモデル
- メーカー事業の成長に資する顧客基盤の維持・拡大
- 安定的な利益基盤の構築

メーカーとして目指す形

- モノづくりシステムメーカー
- ODMメーカー
- 課題解決型の設計開発部門
- 高効率スマート工場

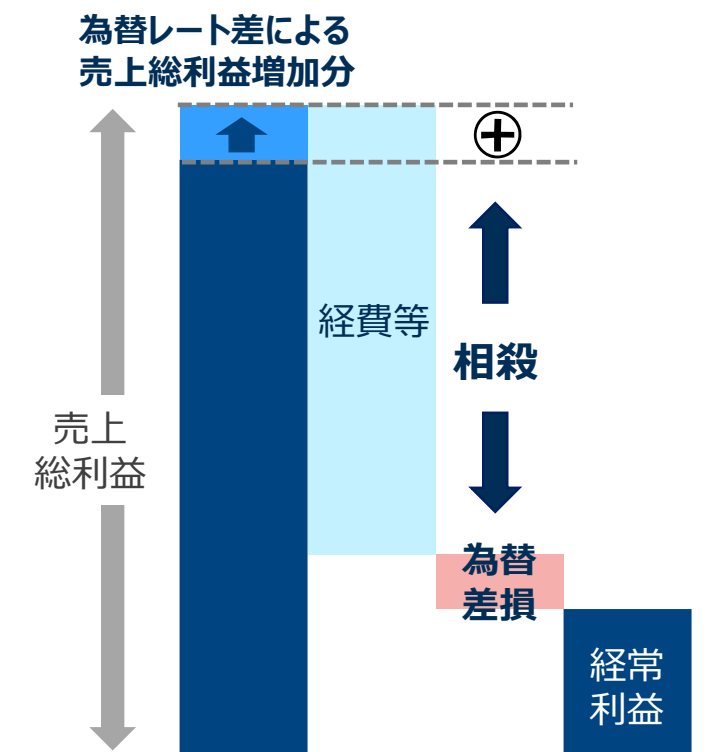


為替リスクヘッジとして先物為替予約を実施



為替変動の経常利益への影響は軽微

円安進行時のイメージ



※ ただし、先物為替予約コストである、日米金利差による金利ディスカウント費用は為替差損として計上されます。

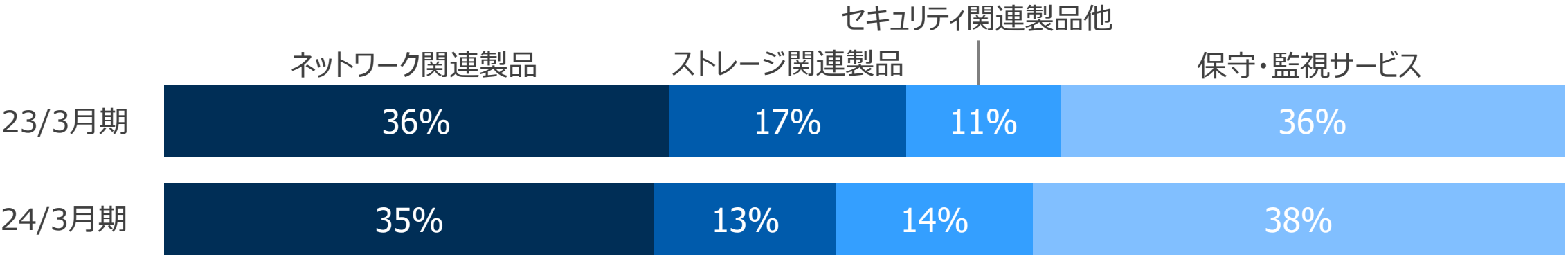
損益計算書

	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	41,009	41,770	45,112	52,014	50,677	61,091	64,127	64,453	59,012	60,685	60,049	63,140
CN事業	4,455	5,547	5,477	7,980	5,407	7,263	7,191	9,393	7,099	7,253	6,587	12,037
EC事業	36,554	36,223	39,634	44,034	45,270	53,828	56,935	55,059	51,912	53,431	53,462	51,102
売上原価	35,377	36,140	38,694	44,056	43,247	52,459	55,409	54,990	50,091	51,594	51,049	52,984
売上総利益	5,632	5,629	6,417	7,958	7,430	8,632	8,717	9,463	8,921	9,090	8,999	10,156
利益率	13.7%	13.5%	14.2%	15.3%	14.7%	14.1%	13.6%	14.7%	15.1%	15.0%	15.0%	16.1%
販管費及び一般管理費	4,173	4,332	4,441	4,560	4,472	5,016	4,881	5,645	5,292	5,565	5,292	5,588
営業利益	1,459	1,297	1,976	3,397	2,957	3,615	3,835	3,817	3,628	3,524	3,707	4,568
利益率	3.6%	3.1%	4.4%	6.5%	5.8%	5.9%	6.0%	5.9%	6.1%	5.8%	6.2%	7.2%
営業外収益	57	79	24	27	39	120	35	72	69	116	164	64
営業外費用	321	91	222	368	836	688	585	-94	554	530	408	427
経常利益	1,195	1,285	1,778	3,057	2,160	3,048	3,285	3,984	3,143	3,110	3,463	4,204
利益率	2.9%	3.1%	3.9%	5.9%	4.3%	5.0%	5.1%	6.2%	5.3%	5.1%	5.8%	6.7%
CN事業	386	532	320	995	381	522	131	984	579	683	712	1,487
EC事業	809	753	1,458	2,062	1,779	2,525	3,153	3,000	2,563	2,426	2,750	2,717
特別利益	1,921	0	0	140	0	0	0	0	4	0	0	0
特別損失	0	114	3	1,351	0	2	0	6	0	1	32	4
税引前当期純利益	3,117	1,171	1,775	1,846	2,160	3,045	3,284	3,978	3,147	3,109	3,430	4,200
利益率	7.6%	2.8%	3.9%	3.5%	4.3%	5.0%	5.1%	6.2%	5.3%	5.1%	5.7%	6.7%
当期純利益	2,176	805	1,257	1,249	1,501	2,147	2,325	2,904	2,210	2,390	2,544	2,935
利益率	5.3%	1.9%	2.8%	2.4%	3.0%	3.5%	3.6%	4.5%	3.7%	3.9%	4.2%	4.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,851	794	1,249	1,189	1,479	2,104	2,316	2,876	2,186	2,364	2,519	2,915
利益率	4.5%	1.9%	2.8%	2.3%	2.9%	3.4%	3.6%	4.5%	3.7%	3.9%	4.2%	4.6%

損益計算書

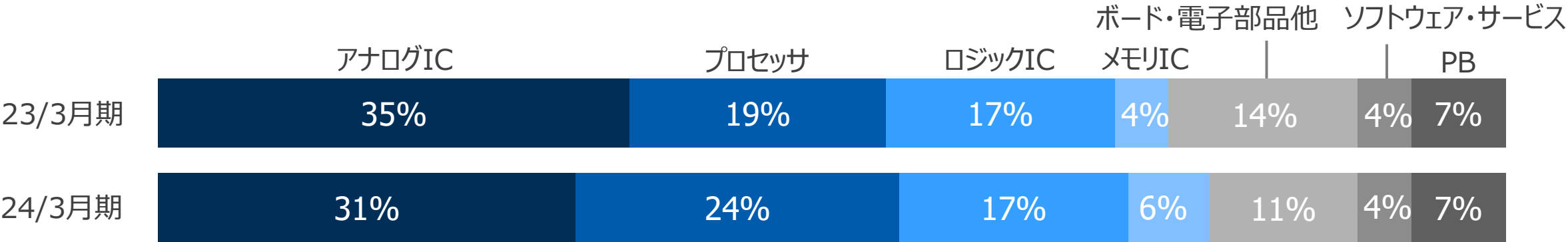
		2023年3月期													
		1Q		2Q		上期		3Q		4Q		下期		通期	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高		50,677	23.6%	61,091	46.3%	111,769	35.0%	64,127	42.1%	64,453	23.9%	128,580	32.4%	240,350	33.6%
	CN事業	5,407	21.4%	7,263	30.9%	12,670	26.7%	7,191	31.3%	9,393	17.7%	16,584	23.2%	29,255	24.7%
	EC事業	45,270	23.8%	53,828	48.6%	99,098	36.2%	56,935	43.7%	55,059	25.0%	111,995	33.9%	211,094	34.9%
売上原価		43,247	22.2%	52,459	45.2%	95,706	33.8%	55,409	43.2%	54,990	24.8%	110,399	33.4%	206,106	33.6%
売上総利益		7,430	31.9%	8,632	53.3%	16,062	42.6%	8,717	35.8%	9,463	18.9%	18,181	26.5%	34,243	33.6%
販管費及び一般管理費		4,472	7.2%	5,016	15.8%	9,489	11.6%	4,881	9.9%	5,645	23.8%	10,527	16.9%	20,016	14.3%
営業利益		2,957	102.6%	3,615	178.6%	6,573	138.4%	3,835	94.1%	3,817	12.4%	7,653	42.4%	14,227	75.0%
経常利益		2,160	80.7%	3,048	137.0%	5,208	109.9%	3,285	84.7%	3,984	30.3%	7,270	50.3%	12,478	70.5%
	CN事業	381	-1.3%	522	-2.0%	903	-1.7%	131	-58.8%	984	-1.1%	1,116	-15.1%	2,019	-9.6%
	EC事業	1,779	119.7%	2,525	235.3%	4,305	175.4%	3,153	116.3%	3,000	45.5%	6,153	74.8%	10,459	105.7%
税引前当期純利益		2,160	-30.7%	3,045	159.9%	5,206	21.4%	3,284	85.1%	3,978	115.5%	7,263	100.6%	12,469	57.6%
当期純利益		1,501	-31.0%	2,147	166.4%	3,648	22.3%	2,325	85.0%	2,904	132.5%	5,230	108.6%	8,879	61.7%
親会社株主に帰属する当期純利益		1,479	-20.1%	2,104	164.9%	3,584	35.5%	2,316	85.5%	2,876	141.8%	5,193	112.9%	8,778	72.6%
		2024年3月期													
		1Q		2Q		上期		3Q		4Q		下期		通期	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高		59,012	16.4%	60,685	-0.7%	119,698	7.1%	60,049	-6.4%	63,140	-2.0%	123,190	-4.2%	242,888	1.1%
	CN事業	7,099	31.3%	7,253	-0.1%	14,353	13.3%	6,587	-8.4%	12,037	28.2%	18,625	12.3%	32,978	12.7%
	EC事業	51,912	14.7%	53,431	-0.7%	105,344	6.3%	53,462	-6.1%	51,102	-7.2%	104,565	-6.6%	209,909	-0.6%
売上原価		50,091	15.8%	51,594	-1.6%	101,686	6.2%	51,049	-7.9%	52,984	-3.6%	104,034	-5.8%	205,720	-0.2%
売上総利益		8,921	20.1%	9,090	5.3%	18,011	12.1%	8,999	3.2%	10,156	7.3%	19,156	5.4%	37,168	8.5%
販管費及び一般管理費		5,292	18.3%	5,565	11.0%	10,858	14.4%	5,292	8.4%	5,588	-1.0%	10,880	3.4%	21,739	8.6%
営業利益		3,628	22.7%	3,524	-2.5%	7,153	8.8%	3,707	-3.4%	4,568	19.7%	8,275	8.1%	15,428	8.4%
経常利益		3,143	45.5%	3,110	2.0%	6,253	20.1%	3,463	5.4%	4,204	5.5%	7,668	5.5%	13,922	11.6%
	CN事業	579	52.1%	683	31.0%	1,263	39.9%	712	440.4%	1,487	51.1%	2,200	97.1%	3,463	71.5%
	EC事業	2,563	44.1%	2,426	-3.9%	4,990	15.9%	2,750	-12.8%	2,717	-9.4%	5,468	-11.1%	10,459	-0.0%
税引前当期純利益		3,147	45.7%	3,109	2.1%	6,256	20.2%	3,430	4.4%	4,200	5.6%	7,631	5.1%	13,887	11.4%
当期純利益		2,210	47.3%	2,390	11.3%	4,601	26.1%	2,544	9.4%	2,935	1.1%	5,480	4.8%	10,081	13.5%
親会社株主に帰属する当期純利益		2,186	47.8%	2,364	12.3%	4,551	27.0%	2,519	8.8%	2,915	1.4%	5,435	4.7%	9,986	13.8%

CN事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	10.8%	データセンター・クラウド事業者向け好調 エンタープライズ向けも伸長	アリスタネットワークス F5 エクストリームネットワークス
ストレージ 関連製品	▲14.8%	前期規模のフラッシュストレージ大型案件なく減少	ピュアストレージ デル・テクノロジーズ
セキユリティ 関連製品	43.4%	システムインテグレーター向けクラウドセキユリティ好調	ネットスコープ センチネルワン デル・テクノロジーズ
保守・監視サービス	17.6%	Sier DC・クラウド事業者向けネットワーク機器と 通信事業者向けストレージ機器の保守好調	TED

EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
アナログIC	▲9.9%	メーカー直販化で 産業機器向け減少	TI / NXP
プロセッサ	27.0%	商権拡大で車載向け大幅増加	NXP / インフィオン / TI / インテル
ロジックIC	▲2.1%	メーカー直販化でPC周辺機器向け減少 商権拡大で車載機器向けは増加	インフィオン / TI / NXP / ラティス / マックスリニア / ソシオネクスト / リアルテック
メモリIC	37.7%	商権拡大で車載機器向け大幅増加	インフィオン / エバースピコン
ボード・電子部品他	▲21.7%	通信機器向け 半導体製造装置向け 減少	NXP / PFU / ウェスタンデジタル / ハギワソリューションズ / ams-OSRAM
ソフトウェア・サービス	▲6.8%	組み込みOS減少	マイクロソフト / DELL / トレリックス
PB	▲1.7%	ファースト低調 ウェーハ検査装置寄与	TED / TED長崎 / ファースト

EC事業 用途別売上高構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	▲9.3%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 計測器 工業用ロボット 工作機械 半導体製造装置 インバータ	メーカー直販化でアナログIC減少 FA 半導体製造装置向け需要減少 商権拡大でプロセッサ ロジックICは増加
車載機器	58.5%	カーナビゲーション カーオーディオ ホンダ系	商権拡大でプロセッサ メモリIC大幅増加 需要増でアナログICも増加
コンピュータ及び その周辺機器	▲31.0%	複合プリンタ プロジェクタ OA機器 ストレージ サーバー PC及び付属機器 POS	アプリケーションが全般的に低調 アナログIC プロセッサ ロジックIC減少
通信機器	▲31.4%	ルータ 伝送装置 基地局	基地局向け電子部品 通信システム向けアナログIC 減少
民生機器	▲28.4%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン 白物家電	メーカー直販化でゲーム機向けアナログIC減少

	品目	主な製品	機能
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 イーサネットスイッチ	インターネットの接続負荷の分散 スイッチングハブ
	ストレージ関連製品	フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	セキュリティ関連製品	エンドポイント ネットワーク クラウド	コンピュータシステム、ネットワーク、データなどを、攻撃や 破損、不正アクセスから保護する
	保守・監視サービス	機器の保守サービス セキュリティ監視サービス	
EC事業	アナログIC	アナログIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	ロジックIC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC ASIC PLD	論理回路をパッケージ化したIC 特定用途向けに作ら れた専用IC お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ボード・電子部品他	ボード 電源 光学部品	プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品（ボード）
	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア クラウドサービス	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア サブスクリプションでのサービス提供
	PB	設計・量産受託サービス 自社ブランド製品	お客様の仕様に応じた基板の設計・開発・量産 製造業向け機器

受注残高の推移

(百万円)

